

ケッティーのFX講座

第11回

トレードに必要な
ファンダメンタルズの知識

By ケッティー

注意事項

■著作権について

本冊子と表記は、著作権法で保護されている著作物です。

本冊子の著作権は、発行者にあります。

本冊子の使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

■使用許諾契約書

本契約は、本冊子入手した個人・法人(以下、甲と称す)と発行者(以下、乙と称す)との間で合意した契約です。本冊子を甲が受け取り開封することにより、甲はこの契約に同意したことになります。

第1条 本契約の目的:

乙が著作権を有する本冊子に含まれる情報を、本契約に基づき甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

第2条 禁止事項:

本冊子に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲は本冊子から得た情報を、この書面による事前許可を得ずして出版・講演活動および電子メディアによる配信等により一般公開することを禁じます。特に当ファイルを第三者に渡すことは厳しく禁じます。甲は、自らの事業、所属する会社および関連組織においてのみ本冊子に含まれる情報を使用できるものとします。

第3条 損害賠償:

甲が本契約の第2条に違反し、乙に損害が生じた場合、甲は乙に対し、違約金が発生する場合がございますのでご注意ください。

第4条 契約の解除:

甲が本契約に違反したと乙が判断した場合には、乙は使用許諾契約書を解除することができるものとします。

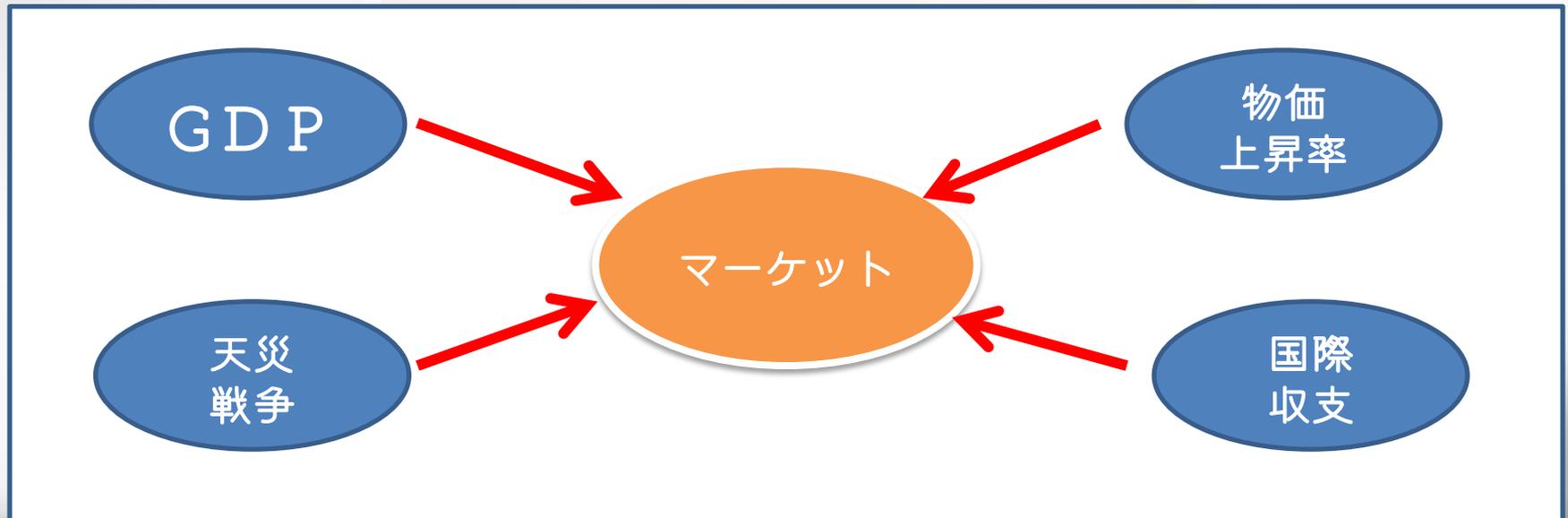
第5条 責任の範囲:

本冊子の情報の使用の一切の責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても一切の責任を負いません。

ファンダメンタルズとは？

ファンダメンタルズとは？

国際経済を安定させるために必要となる条件で、各国の経済成長率、物価上昇率、国際収支などのマクロ的経済指標(経済の基礎的条件)をいう。為替レートが変動相場制に移行して以来、これらの諸条件の各国間の格差を反映し、相対的な通貨価格(為替レート)が変動するようになった。各国間の基礎的条件の均衡が崩れる時に、為替レートの変動が大きくなり、国際経済の不安定さが増すことから、「為替レートの決定要因」として重視されている。1978年、ボン・サミットでのカーター米大統領の発言から一般化。
(知恵蔵2013より)



トレーダーとしてファンダメンタルズをどう扱うか？

ファンダメンタルズを知らずして、トレードをするのは長期に渡り勝ち続ける事は難しいと考えます。なぜなら、マーケットの大きな流れを作るのは、ファンダメンタルズの結果とそれによってマーケット参加者の心理、そして行動によるものだからです。

これを踏まえたうえで・・・

●ファンダメンタルズを勉強し始めると、実に多岐に渡り、どこから手を付けたらいいか分からなくなる。

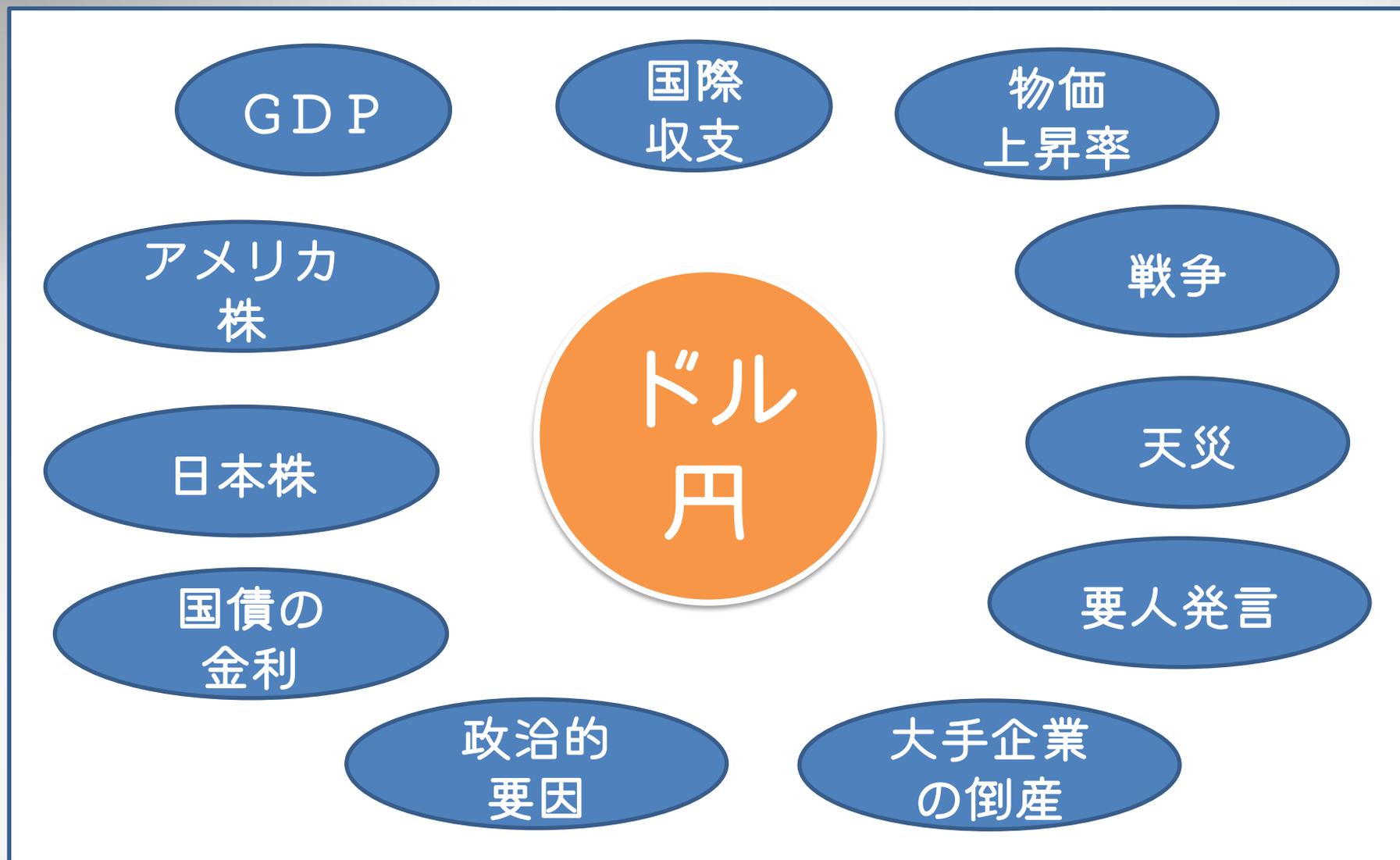
→ファンダを気にしすぎるとトレード自体のエントリーに迷いが生じ、またファンダのみでトレードをすると、大変な目になる。

●ファンダメンタルズの知識ばかり増やしても、勝てるトレーダーになれるとは限らない事は心得ておく。

→いかにファンダメンタルズの情報を得て、トレードに活かしていくかが大切。

それでは、トレードに活かせるファンダの世界を見てみましょう！

為替レートに影響してくるもの EX.ドル円



GDPについて

基本的なところですが、GDP（国内総生産）の構成要素についておさらい致しましょう。

$$\text{GDP} = \text{個人消費} + \text{投資支出} + \text{政府支出} + \text{貿易収支}$$

GDPとは、簡単に言うと国内で生み出されたモノやサービスの総付加価値を指します。GDPはその国の経済の力の目安によく用いられます。そして経済成長率とはGDPが1年間でどれくらい伸びたかあらわすものになります。

そして、経済指標では、このGDPを構成する個人消費、投資支出、政府支出、貿易収支に係る指標がほとんどです。

これらの指標を知ることで、世界各国の経済状況がどのような状況下を読み解くことができます。

経済指標①

トレードをするにあたって、日々注意しなければならないのは経済指標。経済指標はマーケット（値）に大きく影響をしていくので、毎日何時にどんな指標があるのか、そして特に影響を受けそうな指標に関してはきちんと把握しておかなければならない。

【指標の種類】

- ・ 個人消費に関する経済指標
- ・ 労働状況に関する経済指標
- ・ 投資支出に関する経済指標
- ・ 政府、中央銀行に関する経済指標
- ・ 貿易収支に関する経済指標
- ・ 複合的な経済指標

その他この枠の中に当てはまらない経済指標はありますが、まずは上記を把握することをお勧めします。

また経済指標の直後は結果によりさまざまな動きをします。どのように動くかも注意が必要です。後ほど触れていきたいと思います。

個人消費に関する経済指標

個人消費に関する代表的な例を挙げます。

各国の経済を支えるものの一つは個人消費にあります。個人消費が増えるかどうかはその国の経済情勢を見ていく上で、とても参考になる指標と言えます。アメリカ経済では個人消費がGDPの約70%とも言われています。

- ・ 小売売上高
- ・ 消費者物価指数（CPI）
- ・ ミシガン大消費者信頼感指数
- ・ 消費者信頼感指数
- ・ 中古住宅販売件数
- ・ 自動車販売台数

労働状況に関する経済指標

労働状況に関する代表的な例を挙げます。

労働状況により、その国の今後の経済が上向きになるかどうかを判断することができます。そして各指標によって大きくマーケットが動くこともありますので、注意して取り扱わなければなりません。

- ・ **雇用統計**
- ・ **失業率**
- ・ **新規失業保険申請件数**

投資支出に関する経済指標

投資支出に関する代表的な例を挙げます。

各国の企業がどのように投資をしていくかにより、内需の活発化が分かります。在庫投資、建物、機材、コンピュータなどの設備投資、住宅建設などが挙げられます。アメリカの場合、投資支出はGDPの15～20%を占められていますが、経済へ大きな影響の一端を担っています。

- ・ 鉱工業生産指数
- ・ 設備稼働率
- ・ ISM製造業景況指数
- ・ ISM非製造業景況指数
- ・ 住宅建設許可件数
- ・ 住宅着工件数
- ・ 耐久財受注

政府、中央銀行に関する経済指標

政府、中央銀行に関する経済指標を挙げます。
言う間でもなく、政府や中央銀行からの指標ではマーケットは大きく反応します。そして、トレードにおいて大切なのは、今市場参加者はどこの国に注目をしているかです。
そしてどの通貨を取引しているかです。取引している通貨の国の発表には気を付けなければなりません。

- GDP
- 政策金利発表
- 金融政策決定委員会、金融政策委員会
- 米FOMC
- 中央銀行総裁の会見

貿易収支に関する経済指標

貿易収支に関する経済指標を挙げます。

輸出と輸入の金額の差を貿易収支（純輸出）と呼びます。

例えば、ドルが弱いと輸出が増え貿易赤字が減少します。アメリカ国内で言うと輸入商品の値が上がるので輸入品の購入が減少されます。輸出が増えて輸入が減ることになります。ドルが強いとこの現象と逆の現象が起こります。

- ・ 貿易収支
- ・ 日銀短観
- ・ 経常赤字
- ・ 対米証券投資

複合的な経済指標

今まではGDPの構成要素の一つ一つを表した指標などを取り上げてきましたが、多くの経済指標はGDPの構成要素の一つではなく、いくつかの要素が複合されているものもあります。

- ・ ベージュブック（地区連銀経済報告）
- ・ FF金利
- ・ 新築住宅販売件数
- ・ フィラデルフィア連銀景況指数
- ・ 実質金利

以上で指標を大まかに分けて解説しました。

トレードをする時には、市場参加者はどの指標に注目しているか、また予想と結果でどのように異なるかで値は動いていきますので、この予想より良いか悪いかという点も注意しなければなりません。

経済指標⑧

経済指標の確認の仕方

トレード前には毎日経済指標を確認してからトレードをする癖をつけましょう。

指標の確認は以下のサイトで知ることができます。

その他にも各証券会社で紹介していますので、自分の見やすく使いやすい経済指標のサイトを使う事をお勧めいたします。

Daily FX

<http://www.dailyfx.co.jp/market/calendar-detail.html>

【特徴】

- ・ ☆5つで表示
- ・ 要人発言なども細かく掲載されている。

為替ドットコム

<http://www.gaitame.com/market/yosoku.html>

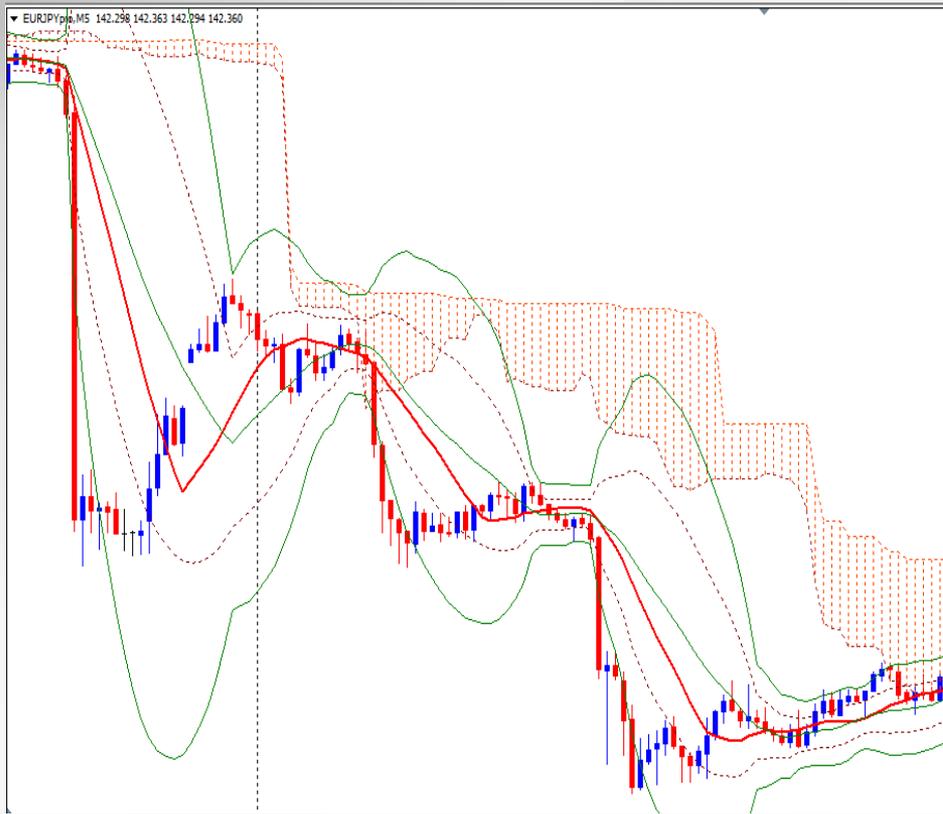
【特徴】

- ・ 重要指標は！マークで表示

経済指標⑨

それでは、指標によってマーケットはどう動くのか見ていきましょう。

【一方向に行ってしまうパターン】



勢いよく、一方に動いた場合はその後の調整後に同じ方向にエントリーをすることを想定する。

指標発表後に、また別の指標で全く逆の動きをすることもあるので注意は必要だが、指標によってトレンドが作られる事もあるので、流れが分かってから乗ることも一つ。

但し、ポンドドルなど勢いよく動きすぎて、その後数時間揉みあうパターンもあるので、慎重に。

経済指標⑨

【上下に乱高下し、最初に動いた方向にトレンドが発生するパターン】



指標直後の動きから一転、逆に動き、その後は再度直後と同じ方向に値が動く。

この場合のエントリーはとても難しい。方向性が定まった所の順張りを仕掛けるしかないが、見送るのも一つの手段。

いづれにしても指標発表直後はエントリーは避けるべき。

経済指標⑨

【上下に乱高下し、最初に動いた方向と反対のトレンドが発生するパターン】



指標直後の動きから一転、逆に動き、
その後は反対方向に値が動く。

この場合のエントリーもとても難しい。方向性が定まった所の順張りを仕掛けるしかないが、見送るのも一つの手段。

いづれにしても指標発表直後はエントリーは避けるべき。

指標トレードのまとめ

- ・ 経済指標は毎日どんなものがあるかを把握するかが大切であり、その結果をしっかりと確認し、今後の値動きにどう影響してくるのか、また市場参加者はどの指標に注目しているかを知ることが大切。
- ・ 指標の直前、直後のエントリーは避けましょう。
特に初心者の方は痛い目に合うこともしばしば。
指標で動いた値動きを後から見たら、ここで入っていればと後悔を抱く人も少なくないが、それは大いに間違った見方をしていることになる。
指標発表前後より、安定した相場でファンダ+テクニカルでトレードをする方がずっと安定的に利益を出せる事を忘れないように。
- ・ 指標発表後にきれいなトレンドの流れが出た時はチャンス到来。
ここは見逃さないようにする。
- ・ 指標の結果が予想より良い、悪いでどちらに動くかは想定しておくこと。

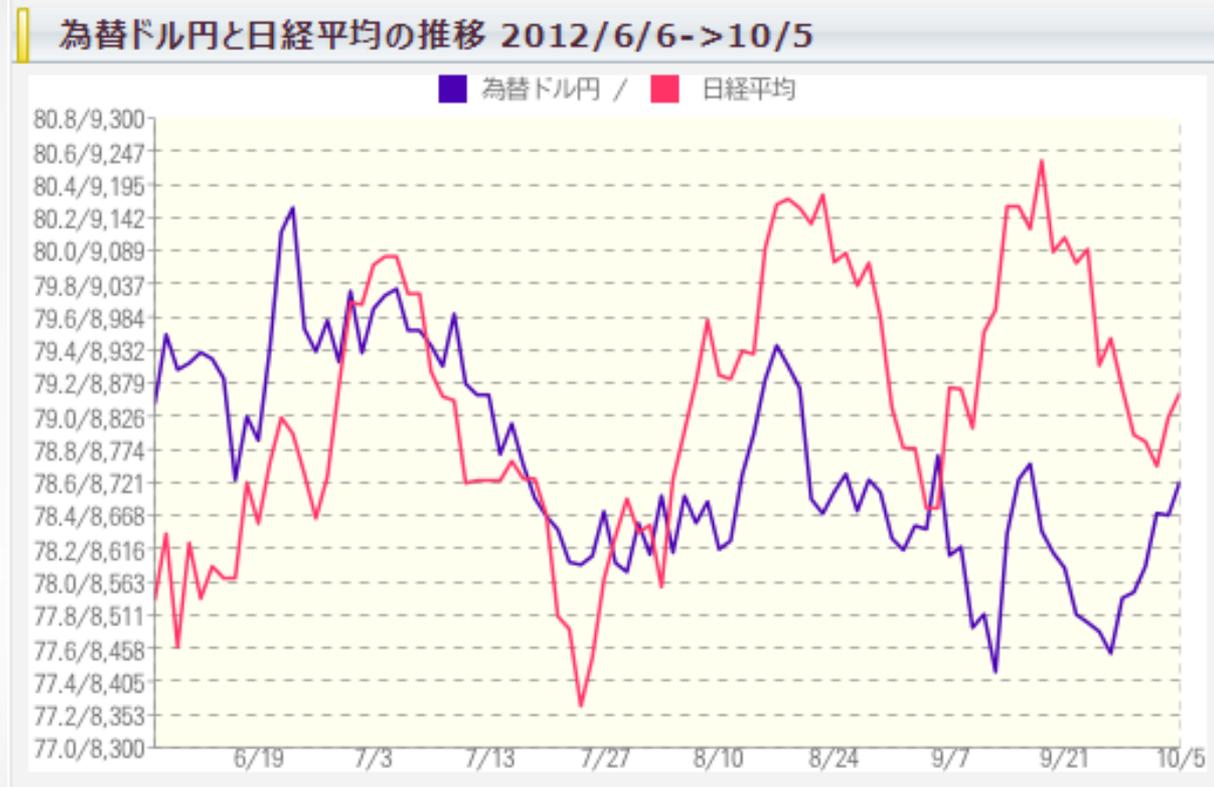
株価との相関性①

株価と為替は大きく繋がっています。

今回は日経平均とドル円相場の相関性を見てみましょう。

最初に覚えておいて欲しい事は、必ずしも日経平均とドル円相場が強い相関関係がある訳ではないという事です。

相関性が弱い時

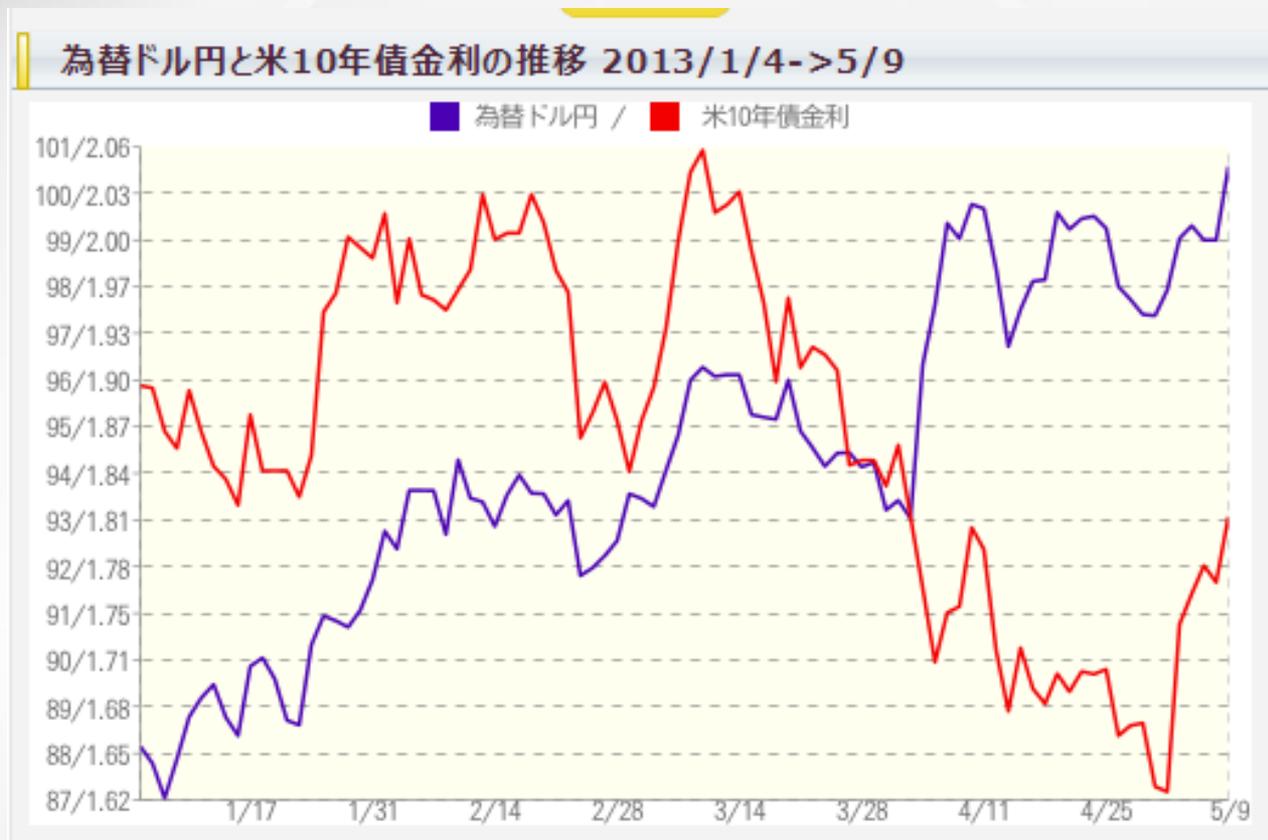


国債との相関性①

国債と為替も大きく繋がりがあっています。

今回は米10年債利回りとドル円相場の相関性を見てみましょう。

相関性が弱い時



国債との相関性②

相関性が強い時



出典

Let' s Gold

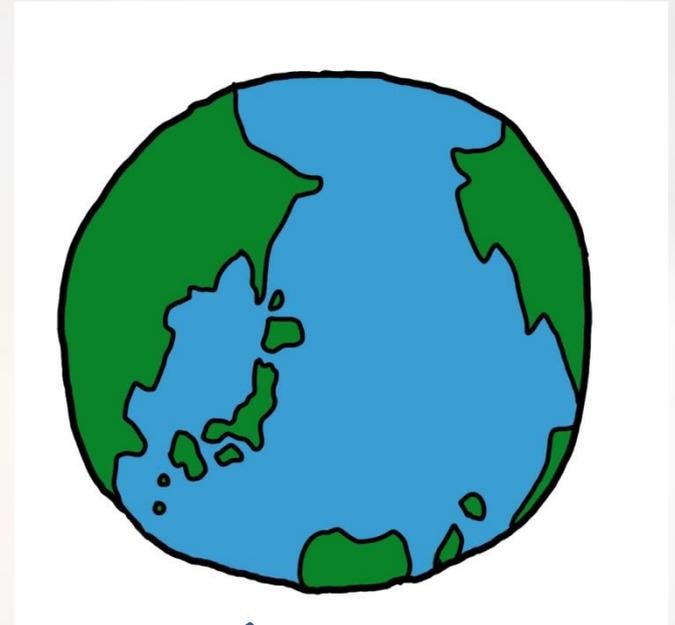
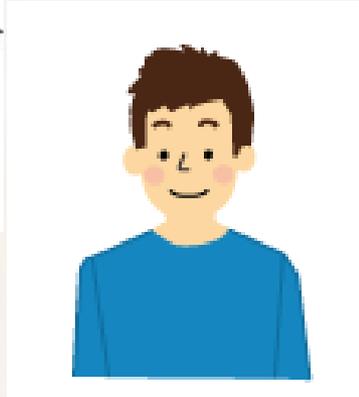
<http://lets-gold.net/>

トレードをするにあたって、今、国債の利回り（金利）との相関性は強い
か弱いかどうかは直近の相関関係を調べる事で知ることができます。ここ
から、国債の利回りと連動してどういう状況かを読み解くことができ、戦
略を立てる要素に国債の金利を参考にするかどうか判断することができます。

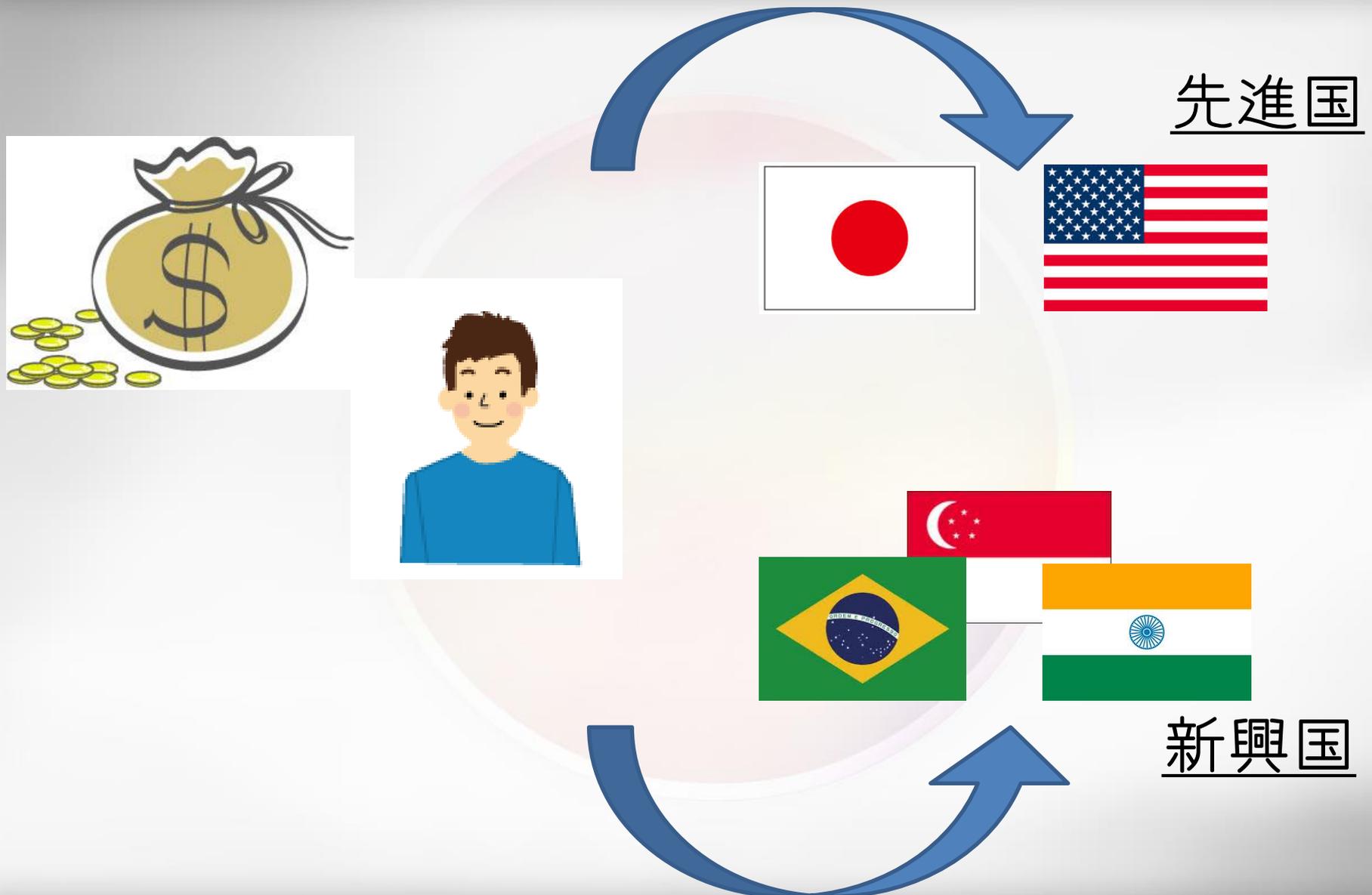
リスクオン、リスクオフとは

例えば…

自分が1億円を持って投資をすると想像してください。

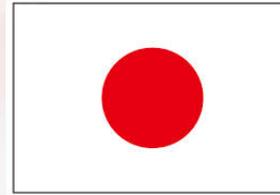
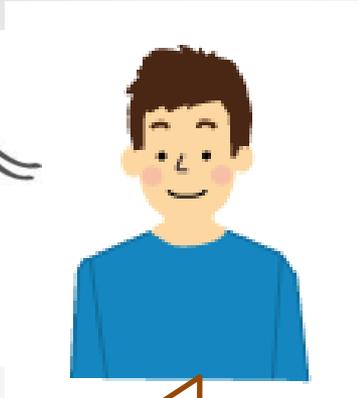


リスクオン、リスクオフとは②

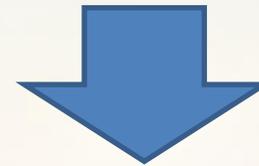


リスクオン、リスクオフとは③

リスクオンの場合



低金利の円やドルを売って、
新興国に投資をする。



資金の流入



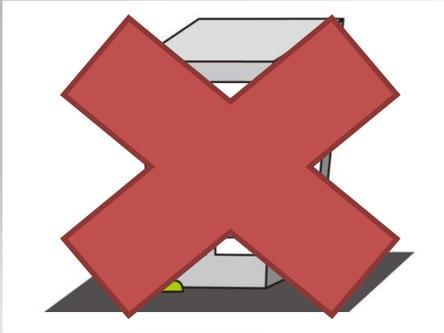
新興国

これから世界経済は
上向きになるだろう
からこれからの成長
を期待できる新興国
に投資しよう！

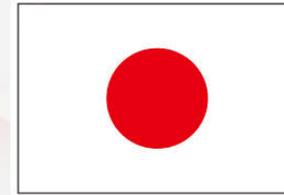
また、リスクオンの時は株や原油なども買われる傾向にある。

リスクオン、リスクオフとは④

リスクオフの場合



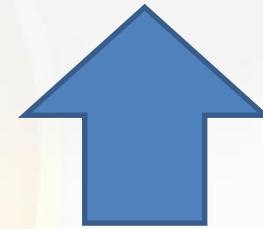
世界的な大企業倒産
戦争
経済情勢の不安
天災



新興国の株や通貨は売られ、
円やドルが買い戻される。



もしかしたらこれから景気は悪くなるかも。安全な国に資金を移そう！



資金の流入



また、リスクオフの時は金も買われる傾向にある。

どこで情報を手に入れるか

【海外の専門誌】

- ・ウォールストリートジャーナル
- ・フィナンシャルタイムズ
- ・ロイター
- ・ブルームバーグ

【テレビ】

- ・ニュースモーニングサテライト
- ・ワールドビジネスサテライト

【国内新聞】

- ・日本経済新聞

【その他】

- ・各証券会社のニュース欄

マーケットが動かない時

いわゆる

材料待ち

材料待ちとは、値が動くきっかけとして、指標やニュースなどをマーケット参加者が待っている状況。値があまり動かない（＝レンジ）が続いている時などを材料不足で動かないと言ったりもする。

ニュースを見る時はマーケット参加者が注目している材料は何なのかを見ていく事が大切。

今回のまとめ

- ①ファンダメンタルズを知らずしてトレードをすることは、地図も東西南北も分からず目的地に行けと言われているようなもの。
- ②マーケットの大きな波(方向性)を決めるのはファンダメンタルズ。そしてそのファンダメンタルズの結果にマーケット参加者どう反応するかによってマーケットは作られていくので、いつも教科書通りに動くとは限らない事も覚えておくこと。
- ③自分はマーケットで利益を上げたいのか、それとも学者になりたいかは常に忘れない事。ファンダメンタルズを語れるようになってもトレーダーとして一人前になれるとは限らない。
- ④多くのマーケット参加者が見ているもので情報を得ることが大切。
- ⑤相場はいつも変容するもの。今、注目されているニュースはしっかりと把握すること。そして、その結果がどうなることでマーケットはどのように動くかの流れは掴んでおけば、結果の動きに付いて行き、トレードに活かすことができる。
- ⑥最初は分からない用語やニュースも毎日触れる事で少しずつ分かってくるので、無理なく情報を仕入れるのが大切。

ファンダとテクニカル分析の両方を兼ね添えて、より精度を上げたトレードをしましょう!